

## 平成 27 年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

### ●施設の概要

施設名	本郷児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市青柳町5丁目24番地1		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	14,861,828円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄骨造平屋建 ◇敷地面積:1,468.33㎡ ◇延床面積:488.78㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室兼集会室、おもちゃ図書館、事務室、駐車場		

### ●利用状況

		H27 下半期	H27 上半期	H26 下半期	H26 上半期	H25 下半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	8,594	10,512	9,482	11,515	9,779
	移動児童館利用者数	440	313	360	330	504
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	11	10	12	11	15
	開館日数(単位:日)	151	156	151	156	151

### ●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画どおり実施。 ②所長(常勤)、常勤職員2人。(児童厚生員は、所長を含め3人) ③センター便り、幼児センター便りの発行・配布、行事案内ポスター掲示、幼児クラブの案内掲示、行事ポスター掲示、児童館ホームページ掲載。ぶりあネットへの登録。 ④苦情受付箱を常設。苦情・クレームについてはマニュアルに従って対応。アンケート調査結果は館内に掲示するとともに印刷して設置。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施(仕様書別記2参照) ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①、④適切に実施。 ②就労促進事業施設清掃班による清掃を実施。 ③使用していない部屋の消灯、エアコンの適正温度の設定等による節電を実施。節水の実施。事業において廃材の再利用に努めた。 ④おもちゃ病院のボランティアによる定期的なおもちゃの修理。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	②大規模な修繕については指定管理者(本部)及び岐阜市に要望を提出。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③マニュアル等に沿って適切に実施。 ②消防訓練を1回実施。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	平成27年12月9日(水)～12月18日(金)に幼児クラブ参加の保護者41名にアンケートを実施。 回答数41人(回収率100%)
利用者アンケートの実施結果	○職員について ・あいさつ 満足33人(80%)、ほぼ満足6人(15%) ・言葉遣い 満足35人(85%)、ほぼ満足5人(12%) ・対応 満足34人(83%)、ほぼ満足5人(12%) ○施設について ・整理整頓 満足33人(80%)、ほぼ満足7人(17%) ・使いやすさ 満足33人(80%)、ほぼ満足7人(17%) ○意見等 ・いつも親子で楽しんでいます。ありがとうございます。(複数回答あり) ・いつも優しく丁寧に迎えてくださってありがとうございます。 ・子どもも前日から児童センターにいくのを毎回楽しみにしています。またお願いします。他
利用者からの要望・苦情と対処・改善	要望⇒回答 ・修理してほしい物(電池切れ、破れなど)を入れる箱などがあればと思うことがある。 ⇒【回答】壊れているおもちゃなどは部屋に掲示してありますようにその場に置いておくことでケガや誤飲につながる恐れがありますので職員にお渡しいただきますようご協力をお願いします。 ・とてもいいひろばなので、もっといろんな方に知ってもらえたらいいと思う(HPなど)。 ⇒【回答】ありがとうございます。HPは本郷児童センターや法人(岐阜市社会福祉事業団)、市役所に開設しており、閲覧できるようになっています。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な広報活動の実施(ホームページなど)	A	A	A
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者アンケートの実施 ・苦情・クレームへの着実な対応	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施(仕様書別記3参照) ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	A	A
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	・事務分掌等に基づく事務分担の実施	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		区分評価			A	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性(収支計画の妥当性など)	・収支計画に沿った運営(予算書に沿った執行)	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価			A	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人的能力、人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価			A	

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	A	S	S
		地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A
		区分評価			A	

### ●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組みに対する評価	<p>□事業の継続的な実施と新規事業について 健全育成事業、地域組織活動支援事業、子育て支援事業を継続的に実施した。母親を対象としたカラーセラピーの講座と岐阜工業高等専門学校との先生と生徒に協力してもらい、児童を対象とした「ものづくり教室」を新規に行った。</p> <p>□広報について 幼児と小学生用の便りを別々にすることで、利用者が児童センターに求めている情報をわかりやすくした。ホームページの情報はこまめに更新することでいつも最新の情報を利用者へ届けるように努めた。館内にも便りや事業の案内を掲示し、利用者へわかりやすくした。</p> <p>□ボランティア募集について 明郷・岐阜・木之本小学校高学年、岐阜中央中学校や岐阜高校に呼びかけ募集を継続的に行った。地域の方にボランティアの活躍を認めてもらえる事業(農作業、大掃除、おもちゃの片づけなど)を実施した。</p> <p>□地域とのつながり ボランティアに野菜を育ててもらい、幼児親子に収穫や試食、児童にはそれを使ったおやつを作る体験をもらえた。また母親クラブ協力のもと食育講座を実施し、幼児親子に食育の大切さを学ぶ場を提供した。本郷まちづくり協議会から依頼を受けて文化祭へ参加し、ステージに出演した。また今年度から木之本からも依頼があり、母親クラブの協力で作品を作り参加をした。第3ブロックの青少年育成市民会議の親子ふれあい教室の親子交流会に移動児童館で出かけ参加した親子に児童センター活動のPRを広く行った。本郷青少年育成市民会議のウォークラリーのチェックポイント会場として児童センターも参加をした。</p>
前回までの意見を踏まえた取組み状況	<p>□アンケート調査だけではなく、幼児クラブの申込書にもクラブで活動したい内容を記入してもらい、希望のあった活動を取り入れた。また小学生の事業で行った事業を母親からの要望で、母親対象にも行った。</p> <p>□ボランティア活動を幼児親子などの利用者の目に留まるような活動に広げることで、ボランティアのやる気を伸ばした。</p> <p>□岐阜市社会福祉事業団内の会議、研修で、ノウハウ、情報の共有化や意思統一などを行った。会議や研修で学んだことは、職員間で伝達講習を行い、事業に生かした。</p> <p>□岐阜市社会福祉事業団のホームページからも本郷児童センターの毎月の便りが見られるようになり、より広く利用者へ広報できるようになった。ホームページの定期的な更新と状況に合わせた更新に加え、事業内容など利用者へ詳しくわかるように便りをそのまま掲載したことで、利用者から事業に参加しやすいとの声が聞かれた。</p> <p>□各校区の青少年育成市民会議主催の親子ふれあい教室や移動児童館で児童センターの案内や便りを配布し、事業内容を説明し、利用促進を図った。</p> <p>□新聞社の取材を受け、地域の広報紙に幼児と親子の活動「いもほりごっこ」の記事を掲載してもらい児童センターの活動のPRをした。また年度末にも小学生の科学あそび「牛乳マジック」取材してもらい、児童センターの活動をPRできた。</p>
今後の取組み	<p>□子育て支援に力を注げるよう、職員のスキルアップを図るとともに、広報にも工夫を凝らしたい。</p> <p>□来年度は今年度よりも会議数が増える明郷小学校運営協議会に参加することで、地域の人々との顔つきを深くし、児童館活動にも協力してもらえるよう関係を密にしたい。</p> <p>□本郷児童センターの事業を今後も発展させるため、地域の方や母親クラブ、NPOと協力して子育て支援や児童健全育成を行っていく。</p> <p>□児童センターとしての事業に不足する部分がないように、中高生だけでなく大人のボランティアの受け入れも行っていきたい。</p>

### ●所管課の意見

<p>児童センターのおたよりを毎月作成し、担当地区の小学校、公民館、中保健センターに配布するとともに、ホームページのこまめな更新や新聞社の取材への対応など情報発信を積極的に行った。また、おたよりについては、新たに幼児用を作成し、それぞれのニーズに答える情報の提供を行った。</p> <p>今期初めて、幼児の母親を対象にカラーセラピーの講座を開催し、育児に対する母親の心のケアに努めた。また、小学生を対象に岐阜高専の先生と生徒による「ものづくり教室」を開催し、ソーラー電池を使ったソーラーブランコを作成した。</p> <p>地域の小学校・中学校・高校の児童・生徒に対してボランティアの募集を継続的に行い、児童センターの行事(スポーツ大会、農作業、大掃除など)で活躍するなどボランティアの育成を積極的に行った。また、新たに木之本の文化祭や、本郷青少年育成市民会議のウォークラリーへの参加など地域との交流や連携を図った。</p> <p>職員体制や経営状況については、問題なく運営が行われている。</p>
--

### ●指定管理者評価委員会の意見

<p>地域の小・中・高校生ボランティアの受け入れを積極的に行い、児童センター内の農作業やイベントに協力するなど、地域の青少年ボランティア育成に貢献していることを評価したい。</p> <p>また、児童センターが地域の行事に参加するなど、積極的に交流を行っており、今後も地域に根ざした活動を継続して行っていただきたい。</p> <p>児童センターを利用する母親に対し定期的に利用者アンケートを行っているが、今後は児童にもアンケート等により意見を聞くなど要望を分析し、満足度向上、利用促進に努めていただきたい。</p> <p>管理運営は適正に行われており、良好と認められる。</p>
--